

令和4年度

竹末小学校通信

学校教育目標

「自ら考え 心豊かで

自立する子どもの育成」



笑顔で
明るく
元気よく

令和4年11月15日

北九州市立竹末小学校

TEL 621-0027

文責 校長 田中 民平

実りの秋を迎えています

11月中旬に差し掛かり、学校周辺も落ち葉が風に舞う季節を迎えています。暮秋とはいえ運動会後も過ごしやすい気候が続いているおかげで、修学旅行や社会科見学といった校外学習も順調に実施することができると「実りの秋」を実感する今日この頃です。今後、寒くなるにつれて再びコロナウイルスの感染拡大やインフルエンザの流行が心配されますが、学校においては緩めることなく感染防止に努めていきます。ご家庭においてもご協力をお願いします。

最高の思い出になりました

11月1～2日、6年生児童は修学旅行に行ってきました。1日目は平和学習のために長崎を訪れ、長崎市立城山小学校で平和集会を実施しました。原爆によりおよそ1400名もの児童の命が奪われた歴史を持つ城山小学校には、今も被爆した校舎の一部が資料館として残されています。子どもたちは、資料館の戦争被害を伝える写真や焼け跡が残る内壁の様子などを見学した後、校庭の嘉代子桜の前で、平和を願う作文や詩の朗読を行い全校児童で折った折鶴を捧げました。



一人一人の真剣な態度、まなざしに心を打たれました。二日目は、最高の天気の中、グリーンランドで班別行動を堪能しました。どのグループもお互いの希望を尊重し、譲り合いながら、笑顔いっぱい仲良くアトラクションを楽しんでいました。もちろん、ルールや時間もしっかり守って、「最高の思い出を作ろう」というめあてをもって臨んだ修学旅行。学ぶときは真剣に学び、遊ぶときはしっかりと協力し合えた子どもたちの姿は、6年間の確かな成長や学級の絆を象徴するものだったと思います。



紙灯籠のイラスト～小倉城竹あかり～

11月2日～6日、小倉城において竹あかりのイベントが開催されました。このイベントは「竹害」を「竹財」という趣旨のSDGsにつながる取組です。事前にその目的や内容について学習したうえで、全校児童が竹紙にイラストを描き出品しました。イラストは紙灯籠として小倉城庭園の一角で火を灯され、とても美しく輝いていました。この活動は、子どもたちにとって昨年度に引き続き2回目です。こうした活動を積み重ねることによって、少しずつSDGsへの意識を高めてくれればと願っています。



楽しかった落語体験

11月8日、5、6年生を対象に家橘屋文太（たちばなやぶんた）氏をお招きして学校寄席を行いました。文太さんは、地元北九州市出身の落語家で、毎年本校で実施しているキャリア教育（職業調べ）にも講師として参加してくださっています。九州初の常設の寄席を作ることを夢見て、トラックの荷台を高座に改造した「落語カー」で、屋外での出張寄席にも精力的に出かけているそうです。多くの子どもたちにとって、初めて観るプロの落語。見事な一人演技に引き込まれていました。また、子どもたちが落語にチャレンジするという企画や6年担任の木崎先生が指名を受けて名演(?)を披露してくれる一幕もあり、館内は終始笑いに包まれていました。質問コーナーでは、「落語をやって嬉しい時は?」「やり始めたきっかけは?」「他にやりたい仕事は?」「給料はどのくらい?」など、落語家という「職業」に関する質問が多く、自分の将来について考える機会にもなったようです。改めて、様々な文化や芸能、人に出会わせる場を作ることの大切さを実感しました。



